

## ハリエンジュアブラムシ

春から夏にニセアカシアの新芽や若枝に群生するアブラムシ（幼虫と成虫）。最大長約2mm。体は黒。小さな幼虫は灰色、白粉を装う。

街路樹などでしばしば多発し、葉が黒ずんだり、新梢が縮れることがある。



1. 幼虫と成虫，最大長1.5mm。2001/8/16.

美唄市，ニセアカシア。

【学名】 *Aphis craccivora pseudacaciae*

【分類】 カメムシ目 (Hemiptera) ， アブラムシ科 (Aphididae)

【分布】 北海道，シベリア；原名亜種が日本および全世界に広く分布する。

### 【生態】

樹上で卵で越冬。春から夏にかけて新芽や若枝上で吸汁加害し，世代を繰り返しながら増殖する。

### 【被害と防除】

ニセアカシアでしばしば多発する。若枝が萎縮する程度で，防除は普通必要とされない。

北海道立林業試験場・緑化樹センター

ハリエンジュアブラムシ abura/harienju/  
kaisetu.htm

「文章」 原秀穂，北海道立林業試験場，2001/8/16.

musi.JPG

「写真1」 原秀穂，北海道立林業試験場，2001/8/16.

